

福島のぶゆき国会日誌

〈国土交通委員会で質疑に立ちました〉 動画をチェック！

19日、国土交通委員会で二地点居住を促進するための広域的地域活性化法改正法案の審議を行いました。

まずは、桜川市犬田で民間がやっている二地点居住施設の「森と蔵」をご紹介します。素晴らしい取り組みが民間主導で実現していますし、東京から100キロ圏内の茨城県は二地点居住の可能性はとても大きなものがあります。

しかし、この法案は、目指すところは素晴らしくても法案の内容がショボい手抜き法案となっただけです。（詳しくは、右上のQRコードからYouTubeをご覧ください。）

法律の附則に規定された5年を目途とする見直しの検討の中で、新法を含め抜本的な見直しを訴え、その趣旨は附帯決議の中にも盛り込んでおります。



〈政治改革に関する特別委員会の委員になりました〉



11日の本会議で改組されて設置された政治改革に関する特別委員会に、与野党の皆さんご協力をいただいて有志の会も委員ポストをいただき、私が会派を代表して委員となることになりました。

この国会での政治改革が、単に連座制の導入といった小さな穴をふさぐ弥縫策ではなく、冷戦の崩壊後世界の体制変革に合わせて実現することができなかった平成の政治改革・行政改革を乗り越えられるような、本質的な「令和の政治改革」に繋がるよう、魂を込めて議論に臨んでまいります。

〈空襲議連の副会長となりました〉

17日、この10年間役員として取組んできた「超党派空襲議連」。会長だった北村誠吾先生が昨年逝去され、事務局長が不祥事により議員辞職したため、平沢勝栄会長、松島みどり会長代理兼事務局長の東京下町コンビで再スタート。墨田区や江東区にルーツを持つ私は、副会長を仰せつかりました。

勉強会では、東京大空襲で母親と幼い弟二人を失った河合節子さん、両親と生まれて3か月の妹を無くして3歳にして孤児になった吉田由美子さん、鹿児島県薩摩川内市の空襲で6歳の時に左足を失った安野輝子さんのお話をお聞きしました。

どの話も胸に迫る話ですが、戦後79年が経とうとしている中、私たち国会議員は話を聞いている場合ではありません。自民党以外の各党会派は、空襲被害者への特別給付金を給付する法案に賛同しております。一日も早く議員立法による法案の成立を目指して、汗をかいてまいりたいと思います。

